科目ナンバリング	U-LAS30 10001 SJ11						
授業科目名 <英訳>	情報基礎演習［全学向］ Practice of Basic Informatics (General)			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　日置　尋久		
群	情報学科目群	分野(分類)	(基礎)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	月4/月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

パーソナルコンピュータ(PC)利用経験の浅い学生を主に対象として，学習などにおいてPCを活用するための基礎的な知識と技能を修得する．コンピュータシステムの基本的な構成，ファイル操作，情報検索の方法，情報セキュリティと倫理，文書作成の方法，データ解析の基礎，プレゼンテーション(プレゼン)の方法，またコンピュータを自在に操るためにプログラミングの基礎について学ぶ．授業を通じて，大学での学習や研究，卒業し社会に出た後あるいは日常生活において，コンピュータを活用し，的確かつ効率的にタスクを完了できるようになること，また同時に情報ネットワーク社会で適切に活動するための知識と技能を修得することを目指す．さらに今後，コンピュータの利用において問題が生じたときには，できるだけ自力で対処できるようになるための準備を整えることを目的とする．

[到達目標]

・システムソフトウェア(OS)と各種のアプリケーションの関係，コンピュータとネットワークの関係を理解し，データを適切に処理し，管理できるようになる．
・大学図書館が提供している情報とその利用法を知る．
・ネットワークを安全に使うスキルを身につける．
・ネットワーク等から得られる情報資産を適切に利用する態度を身につける．
・文書を構造化し，適切に構成していくために必要な知識を身につける．
・データを解析し，結果を提示するための基礎的な知識と技能を修得する．
・効果的なプレゼンの方法について実践を通して学ぶ．
・プログラムを作成してみることで，コンピュータのさまざまな処理がプログラムによって実現されていること，またプログラミングの技能を修得すればコンピュータを自在に使えるようになりうることを体験的に学ぶ．

[授業計画と内容]

この授業で予定している内容は，おおよそ以下のとおりである．

01 はじめに ― コンピュータとネットワークを学習に活用するための基礎を知る
02 オペレーティングシステム ― コンピュータの基盤ソフトウェアを意識する
03 ネットワークの利活用 ― セキュリティ，倫理，著作権について学ぶ
04 学術情報の探索 ― 図書館を活用して学術情報を探索する方法を学ぶ(協力：附属図書館研究開発室教員，附属図書館・吉田南総合図書館職員)
05 学術情報探索の実践 ― 学んだら実践する．実践により学術論文を知る
06 学術的な文書の作成 ― 文書作成の心得や進め方，文書の構造化などを学ぶ
07 プレゼン実践(1) ― 効果的なプレゼンについて考える
08 データ分析の基礎(1) ― データを目の前にして，それを効率よく分析する方法を学ぶ
09 データ分析の基礎(2) ― さらにさまざまなデータ分析のための手段を知る
10 プレゼン実践(2) ― 効果的なプレゼンについて互いに学び合う
11 プログラミングの基礎(1) ― プログラミングとは何かを知る
12 プログラミングの基礎(2) ― タートルグラフィクスでプログラムを作ってみる

情報基礎演習［全学向］(2)へ続く↓↓↓

13 プログラミングの基礎(3) ― 変数を使ってプログラムを汎用化する
14 プログラミングの基礎(4) ― 繰り返しと条件に基づく処理
15 おわりに ― 授業フィードバック

【備考】
都合によって，上に示した順序を変更して授業を実施する場合がある．また本科目では，高等学校の2022年度からの学習指導要領を踏まえた内容も先行的に実施することを検討している．実施する場合には上のトピックの一部を変更する予定である．

[履修要件]

所属学部のクラス指定の「情報基礎演習」が開講されている場合は、［全学向］の「情報基礎演習」を履修しても卒業要件を満たす科目として認められないことがあるので、各自で所属学部に必ず確認すること。

[成績評価の方法・観点]

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する．課題・レポートは提示した条件を満たしているか，授業で学習したポイントを踏まえているかどうか，記述が明解かどうかなどによって評価する．

[教科書]

喜多，北村，日置，酒井『情報基礎演習 2024』
オンライン版(PDFファイル)を授業で提供する(出版はされていない).
2023年度版を改訂して2024年度版を提供する予定である．

[参考書等]

（参考書）
授業支援システム「PandA」を介して資料を提供する．

（関連ＵＲＬ）
https://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/users/hioki/lect/clite/(授業ポータルサイト)
https://www.ntt.com/business/services/application/content-video-delivery/com-master.html(インターネット検定ドットコムマスター)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外の学習として，トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める．授業時間外の演習には，大学内の教育用コンピュータシステムや各自所有のPCを使用すること．また授業で予定されるトピックについて，教科書等で，概念，用語などを事前に予習しておくことで，演習にスムーズに取り組めるようにしておくことが望ましい．学習した内容を着実に身につけるためには，演習後に復習するとともに，さまざまな場面で学習した知識とスキルを実際に活用していくことが重要である．

[その他（オフィスアワー等）]

質問は随時メールで受け付ける。メールアドレスは授業で伝える。なお本科目では受講者数を適正な規模に保つために履修人数制限を行う予定である。

本科目では、受講生が各自PCを持参して参加することを前提としている。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。

情報基礎演習［全学向］(3)へ続く↓↓↓

情報基礎演習［全学向］(3)

[主要授業科目（学部・学科名）]